

1 策定の考え方

- 本市を取り巻く様々な環境の変化に伴う行政需要に適切に対応するため、これまで以上に効率的、効果的な行財政改革に取り組む。
- 第八次福井市総合計画を着実に推進するため、総合計画の計画期間と合わせて策定する。

2 策定方針

(1) 今後の課題

- 北陸新幹線福井開業等に伴う行政需要への対応
- 新型コロナウイルス感染症等をふまえた「新たな日常」への対応
- 人口減少に立ち向かう持続可能な活力あるまちづくり
- 健全で持続可能な行財政運営

(2) 今後の行財政改革の方向性

未来につなげる 持続可能な行政運営

総合計画に掲げる将来都市像「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」の実現を目指して、様々な課題に効果的に対応できる行政組織の構築や、市民サービスのさらなる向上、健全な財政運営に取り組み「未来につなげる持続可能な行政運営」を進める。推進にあたっては、デジタル技術を積極的に活用し、住民の利便性向上を図る。

(3) 取組期間

5年間（令和4～8年度）

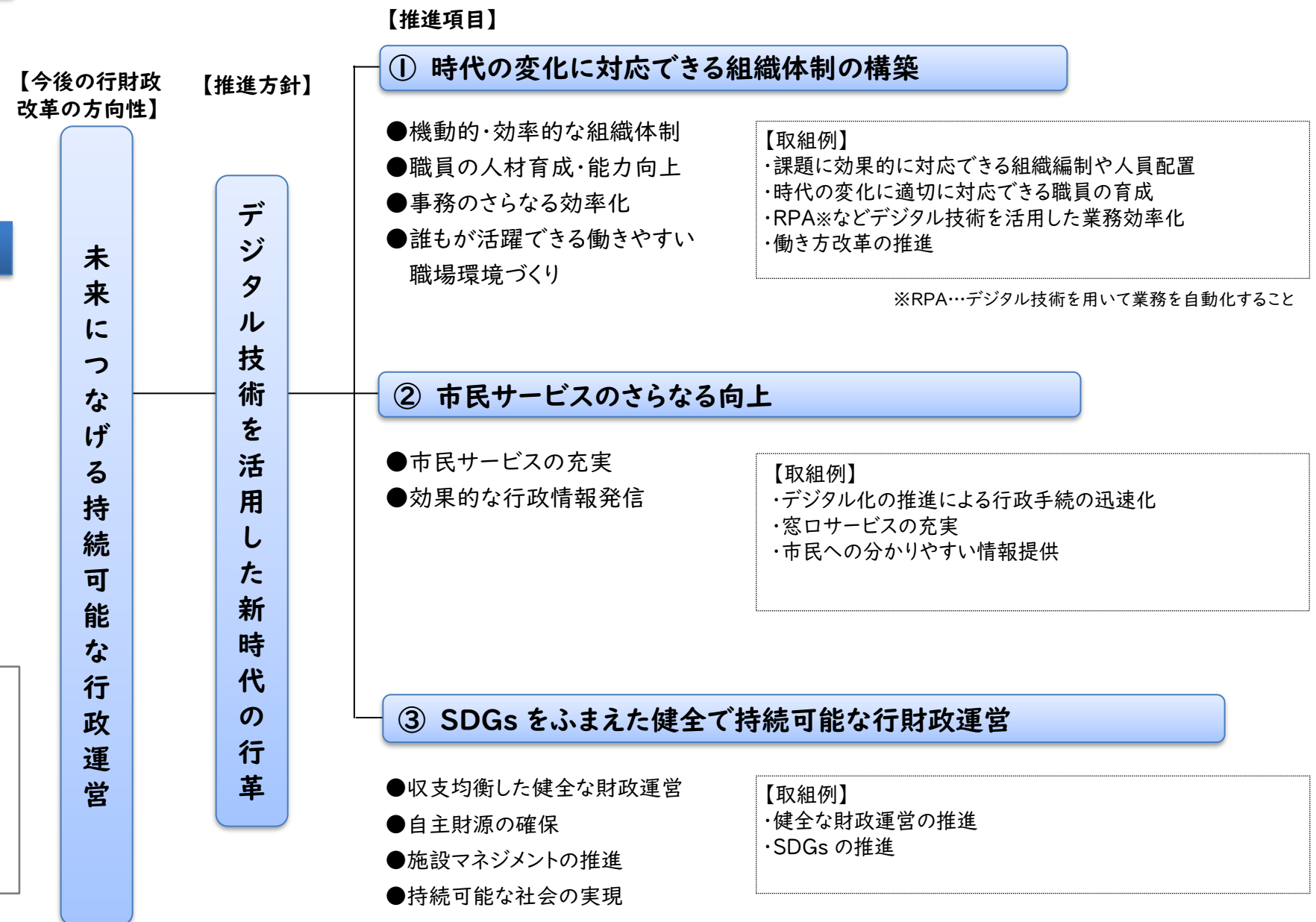
(4) 推進体制

市長を本部長とする行政改革推進本部と、民間委員で構成する行政改革推進委員会により推進を図る。

(5) 取組状況の公表

ホームページでの公表

(6) 推進の体系図



3 スケジュール

令和3年11月「福井市行政改革指針（令和4～8年度）（素案）」協議、決定【行政改革推進本部会議、行政改革推進委員会】

//（素案）について議会正副議長、会派説明

12月（素案）についてパブリックコメントの実施

4年2月「福井市行政改革指針（令和4～8年度）」決定【行政改革推進本部会議】

// 議員全員協議会において説明